

主要市場の品目シェア

レタス、キャベツ伸長 メロンは大きく減退

品種やアイテムが増加、変化している青果物。大きなカテゴリーとしての「品目」のシェアも変動している。

別表は市場流通が最盛期だった1992年と、

2012年の全国主要市場における取扱金額及びシェアをまとめたもの。市場流通そのものが落ち込む中ではあるが、野菜ではトマトがキュウリを抜いてシェア1位に。また、キャベツ、レタスが取扱金額、シェアとも伸びている。タマネギも伸びているが、これは92年が豊作安値だったことが理由。

果実は、99年からミカンに代わりイチゴが1位だったが、12年はミカンが返り咲いた。メロンが金額、シェアを大きく落としているのが目立つ。

リンゴ、ブドウは他品目の取扱金額減少によってシェアが高まつた。また、バナナの金額が減少

しているのは、市場でのためと思われる。

色付加工の時代が終焉に向かい、商社からスーパーへの直接販売が増加し

いざれにしても消費者を

市場流通そのものが落ち込む中ではあるが、野菜ではトマトがキュウリを抜いてシェア1位に。また、キャベツ、レタスが取扱金額、シェアとも伸びている。タマネギも伸びているが、これは92年が豊作安値だったことが理由。

果実は、99年からミカンに代わりイチゴが1位だったが、12年はミカンが返り咲いた。メロンが金額、シェアを大きく落としているのが目立つ。

なお、野菜はシェア上位品目へ集中、逆に果実は分散する傾向にある。ため、品種、アイテムは多様化している。

全国主要市場における品目別取扱金額シェアの推移

順位	1992年			2012年		
	品目	金額	シェア	品目	金額	シェア
野菜	1 キュウリ	1,539	7.8	トマト	1,287	8.1
	2 トマト	1,529	7.7	キュウリ	1,067	6.7
	3 ネギ	931	4.7	キャベツ	859	5.4
	4 ナス	925	4.7	レタス	830	5.2
	5 ジャガイモ	837	4.2	タマネギ	797	5.0
	6 ダイコン	816	4.1	ネギ	786	5.0
	7 ニンジン	761	3.8	ダイコン	647	4.1
	8 キャベツ	754	3.8	ニンジン	593	3.7
	9 レタス	703	3.6	ナス	582	3.7
	10 ホウレン草	703	3.6	ジャガイモ	556	3.5
果実	1 ミカン	1,972	14.0	ミカン	1,097	14.4
	2 イチゴ	1,679	12.0	イチゴ	1,090	14.3
	3 リンゴ	1,606	11.4	リンゴ	886	11.6
	4 メロン	1,546	11.0	ブドウ	524	6.9
	5 ブドウ	873	6.2	メロン	491	6.4
	6 バナナ	868	6.2	バナナ	479	6.3
	7 スイカ	774	5.5	スイカ	408	5.4
	8 ナシ	746	5.3	ナシ	343	4.5
	9 モモ	476	3.4	モモ	289	3.8
	10 イヨカン	453	3.2	カキ	250	3.3

数値は全国生鮮食料品流通情報センターより(金額=億円、シェア=%)